

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年6月2日（木）

2 確認箇所

Eタンクエリア

3 確認項目

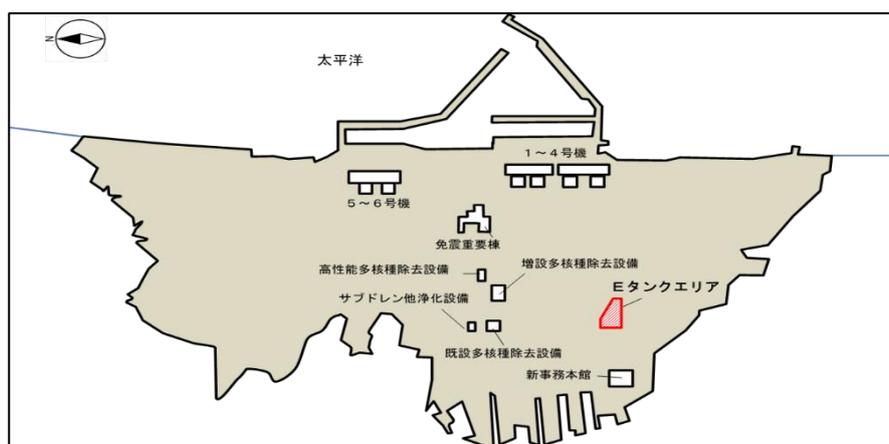
Eタンクエリアのフランジ型タンクの残水移送作業の状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアのフランジ型タンク解体作業において、一部のタンクに底部残水（RO濃縮水）の α 核種濃度が高いことが確認されたため、漏えいのリスクを低減するために、タンク内の残水やスラッジの移送作業が進められていることから、その状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年5月12日](#)）

なお、当該エリアでは、今回確認したD1・D2タンクを含む3基を除く46基のフランジ型タンクの解体が完了している。

- ・現地確認の結果、前回確認時（令和4年5月12日）との主な変更点は、D2タンク下部側面に新たなハウスが設置されていたことと、前回確認したD2タンクの上部の骨組み部分は、フィルターを設置するためのハウスとなっていた。（写真1、2）
- ・東京電力では、D1・D2タンクの解体にあたり、残水の移送、底部のスラッジ回収（D1のみ）、内部の洗浄を行うとしている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



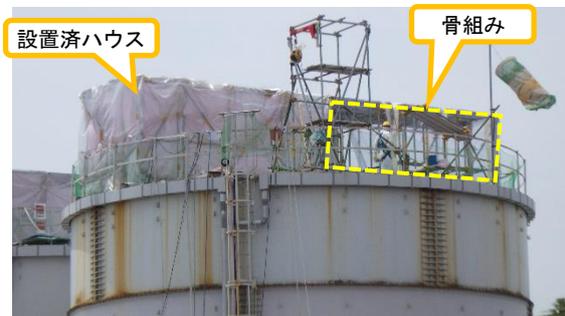
(写真1-1)
D1、D2タンクエリア概観
(北東側から令和4年5月12日撮影)



(写真1-2)
D1、D2タンクエリア概観
(北東側から令和4年6月2日撮影)



(写真1-3)
D2タンク下部側面に新たに設置されたハウスの近影
(令和4年6月2日撮影)



(写真2-1)
D2タンク上部の状況 (北側から令和4年5月12日撮影)



(写真2-2)
D2タンク上部の状況 (北側から令和4年6月2日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。